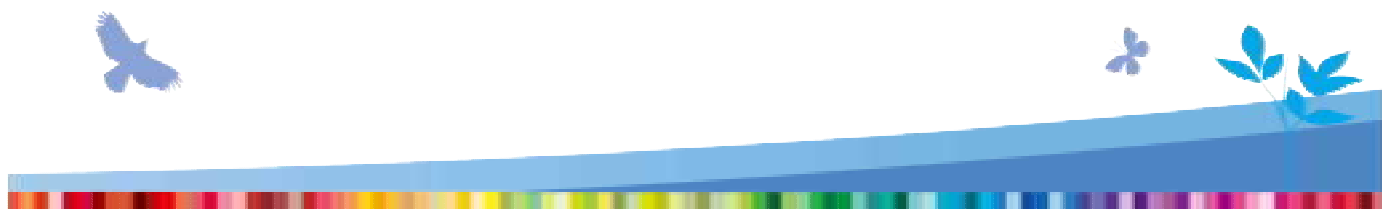


目 次

- 1 生物多様性地域戦略の概要 1
- 2 令和 2 年度の各施策の実績と評価 5
- 3 令和 2 年度の地域個別計画の実績 33



1 生物多様性地域戦略の概要

(1) 地域戦略の目標

静岡県は、富士山をはじめ南アルプス、伊豆半島、浜名湖など変化に富んだ美しい自然に恵まれています。

このめぐまれた県土を次世代へと継承していくために、生物多様性について県民みんなで理解し、行動していくことが必要です。

これらの自然が有する生物多様性の素晴らしい環境を後世に継承していくため、県では、「ふじのくに生物多様性地域戦略」を平成 30 年 3 月に策定しました。

ふじのくに生物多様性地域戦略の目標

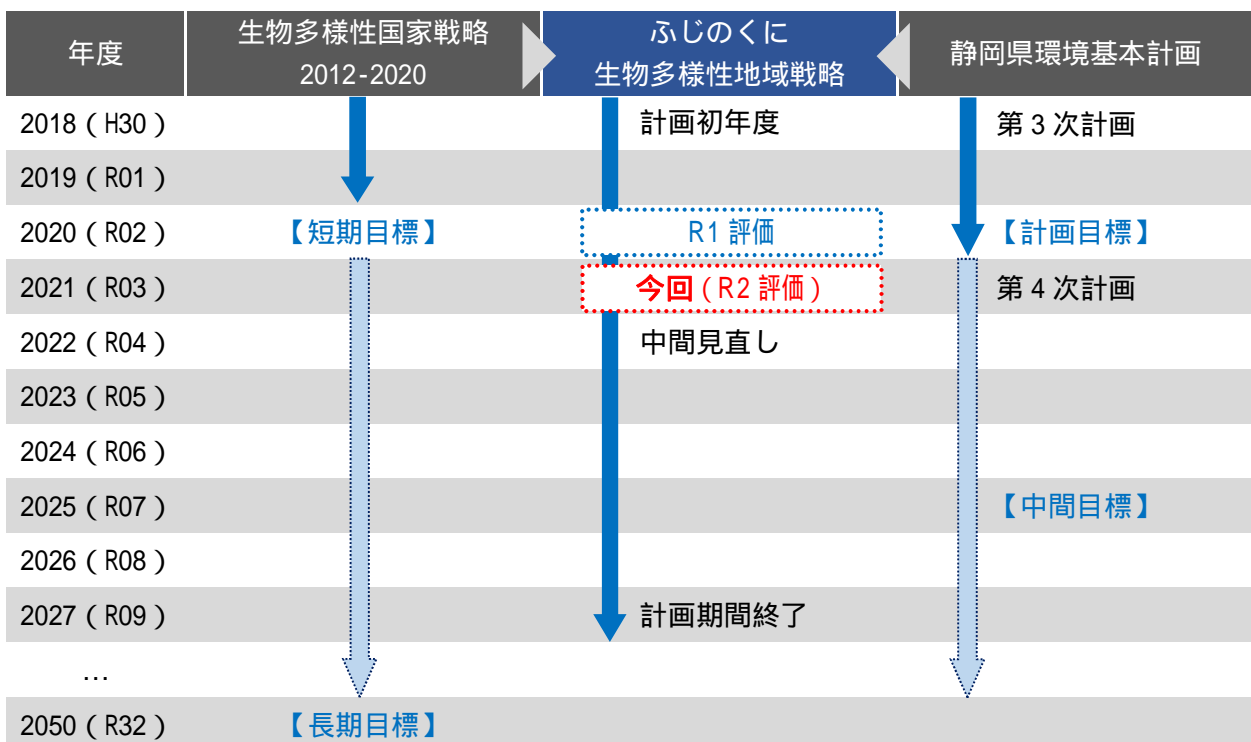
生物多様性の大切さを理解し、力を合わせて、
生物多様性にめぐまれた理想郷“ふじのくに”に生きる

(2) 地域戦略の期間

生物多様性は長期的な見通しを必要とするものであり、生態系は 100 年単位、1000 年単位で変化を捉える必要があります。

本戦略では、長期的な視点に立った科学的知見のもとで、2018(平成 30 年)年 4 月 1 日から 2028(令和 10 年)年 3 月 31 日までの 10 年間を具体的な計画期間とします。

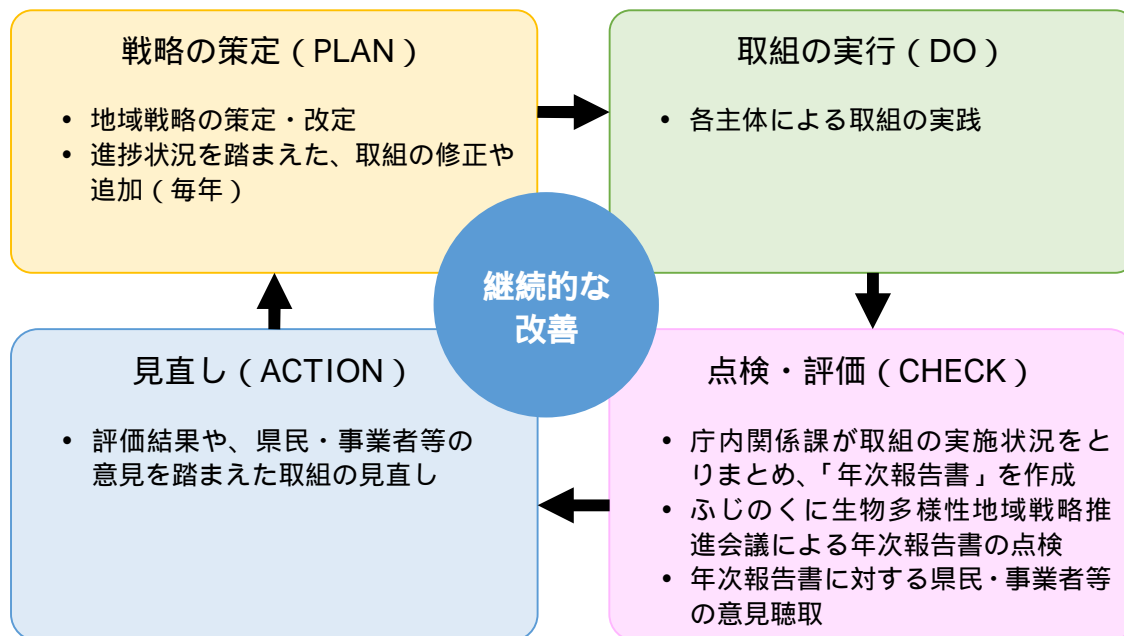
状況は常にモニタリングする必要がありますが、概ね 5 年後には全体の見直しを行うものとします。



国の「生物多様性国家戦略 2012-2020」では、「生物多様性条約戦略計画 2011-2020 (愛知目標)」を踏まえて、短期目標を 2020 年、長期目標を 2050 年と設定しています。

(3) PDCAサイクルによる進行管理

本戦略の推進に当たっては、「PDCAサイクル」(戦略の策定：PLAN、取組の実行：DO、点検・評価：CHECK、見直し：ACTION)の各過程で「ふじのくに生物多様性地域戦略推進会議」による協議・調整を図り、取組の点検、評価及び戦略の見直しを行います。なお、PDCAサイクルの継続的な改善を行うにあたっては、社会情勢や環境の変化等に順応的に対応しながら実施していきます。



PDCA サイクルによる本戦略の進行管理

(4) 戦略の基本的な考え方

本戦略の基本理念は、生物多様性国家戦略の理念を踏襲します

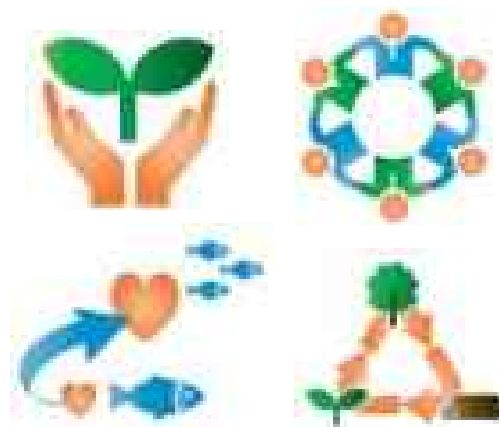
生物多様性の保全と持続可能な利用を目指すためには、古くから日本人が持っていた自然観を大切にし、自然と人が共生する社会の実現に向けて、みんなで行動していく必要があります。

そのため、「生物多様性国家戦略 2012-2020」の理念「自然のしくみを基礎とする 真に豊かな社会をつくる」を踏襲します。

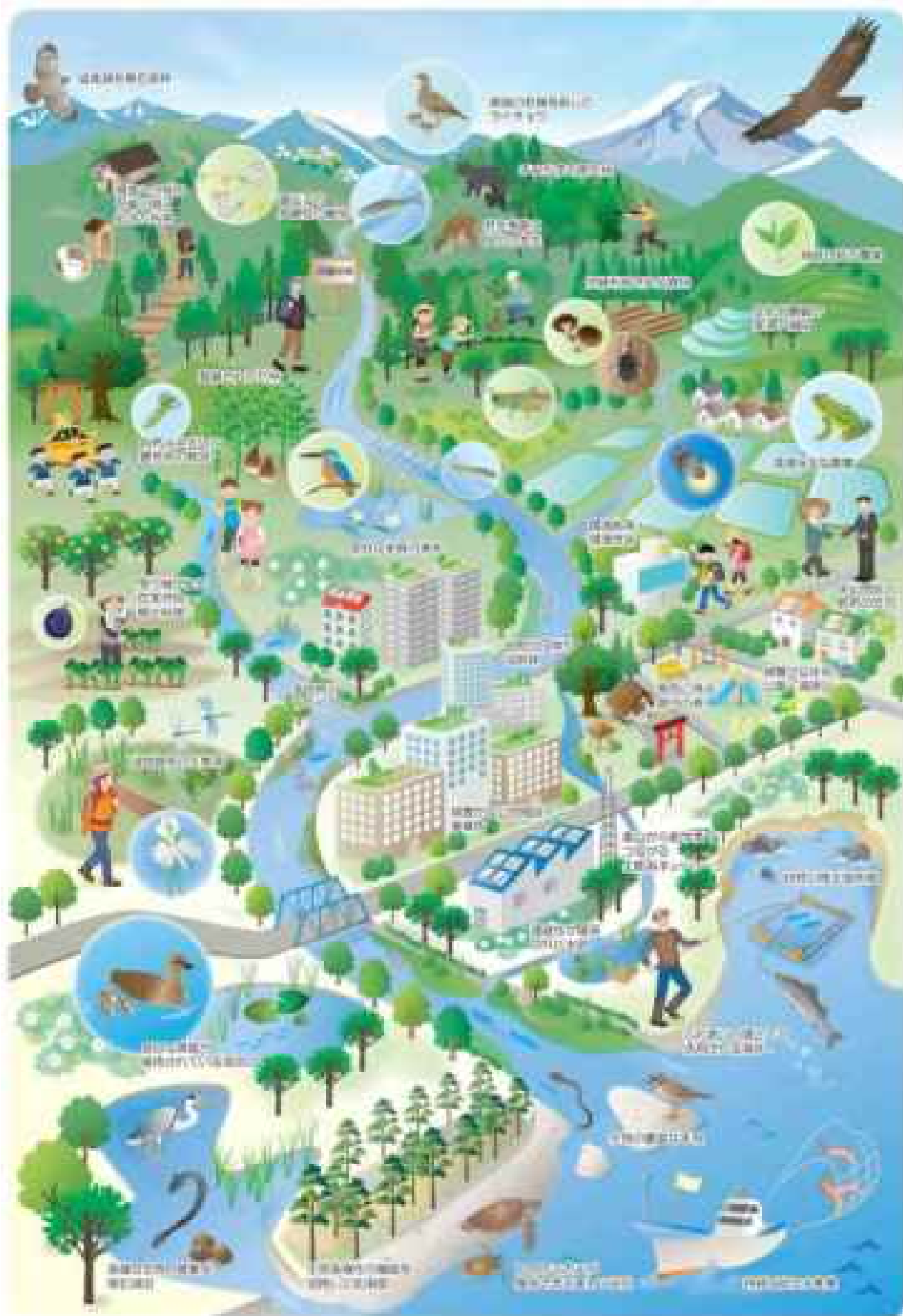
“ヒト”は生物多様性の一要素ですが、同時に人として生物多様性と共生していくために、9つの基本的視点により対応していきます。

9つの視点

- 地域の固有性歴史性を重視する
- 自然に委ねる
- 人が働きかける
- 保全・再生・創出する
- 気候変動に対応する
- 持続可能な利用をする
- いのちのめぐみを未来につなぐ
- 防災・減災に活用する
- みんなで力を合わせる



(5) 目指す将来像(イメージ図)



ふじのくに生物多様性地域戦略の体系

基本理念	自然のしくみを基礎とする 真に豊かな社会をつくる
目指す将来像	社会全体・生態系ごとの将来像

